

保護者様

各務原市立川島小学校
校長 河合 洋尚

令和6年度 学校評価の集計について（ご報告）

保護者の皆様を実施させていただきましたアンケートをまとめましたので報告します。この結果をもとに、学校の教育活動の一層の充実を図るよう職員一丸となって取り組んでまいります。さらに家庭・地域・学校が手を携えて、子どもたちの成長を支えていけるよう、今後ともご協力をお願いします。

また、保護者の皆様からいただいたご意見やご要望につきましては、全職員で目を通させていただきます、今後の学校運営の改善を図っています。

1 【学校・教職員の姿】 学校の教育活動等について

	質問の内容	そう思う	やや思う	あまり思い	まったく思い	分からない	R6割合		過去のAB割合	
							AB	CD	R5	R4
1	学校は、学校・学級だより、授業参観、ホームページなどで、学校や子どもの様子がよくわかるように努めている	29%	50%	18%	1%	3%	79%	19%	82%	95%
2	教職員は、保護者との連絡を密に行い、保護者とともに子どもを育むように努めている	38%	41%	14%	4%	3%	79%	18%	79%	85%
3	教職員はいじめ防止に努め、よさを積極的に認め励ますなど、一人一人を大切にされた指導を行っている	27%	45%	11%	4%	12%	72%	16%	71%	75%
4	教師は、授業を工夫し、子どもに分かりやすいように教え、学力向上に努力をしている	32%	40%	10%	3%	16%	72%	13%	74%	80%
5	学校は、学校行事（遠足・運動会など）を工夫し、生き生きとした教育活動を行っている	30%	51%	11%	1%	6%	81%	9%	86%	91%
6	学校は、健康で安全な学校生活（けが・病氣予防）に努めている	31%	51%	6%	1%	12%	82%	7%	85%	91%
7	教室、校舎内、校庭などは、美しく安全に整備されている	24%	52%	16%	2%	6%	76%	18%	82%	89%
8	幼保小中学校の連携を積極的に進めている	23%	37%	11%	2%	27%	60%	13%	61%	66%

2 【子どもの姿】 お子様（我が子）の様子について

項目	質問の内容	そう思う	やや思う	あまり	まったく思わない	分からない	R6割合		過去のAB割合	
							AB	CD	R5	R4
明るい笑顔	1 家族や地域の方への明るいあいさつの習慣が身に付いている	18%	45%	31%	4%	1%	63%	35%	68%	77%
	2 温かい言葉遣いが身に付いている	18%	54%	24%	3%	1%	72%	27%	65%	69%
	3 友達と仲良くすごしている	47%	45%	7%	0%	1%	92%	7%	91%	92%
	4 学校のきまりや家族や友達との約束を守っている	34%	51%	14%	0%	1%	75%	14%	82%	86%
	5 ボランティア活動に進んで取り組んでいる	15%	35%	39%	7%	5%	50%	46%	47%	47%
楽しい笑顔	6 意欲的に授業に臨んでいる	23%	47%	22%	2%	5%	70%	24%	68%	74%
	7 立腰姿勢（足ピタ・背筋ピン）が身に付いている	11%	29%	43%	11%	6%	40%	54%	43%	51%
	8 鉛筆を正しく持って、ていねいに字を書いている	15%	39%	34%	10%	1%	54%	44%	55%	60%
	9 積極的に挙手発言ができています	19%	38%	32%	7%	4%	57%	39%	55%	55%
	10 お子さんにとって、ICT機器が学力向上のために活かしている	14%	44%	27%	5%	10%	58%	32%	59%	69%
	11 タブレット・スマホ・ゲーム等、ルールを守って使っている	25%	39%	24%	11%	1%	64%	35%	60%	61%
12 進んで家庭学習に取り組んでいる	18%	29%	41%	11%	0%	47%	52%	59%	58%	
元気な笑顔	13 元気よく登校する習慣が身に付いている	38%	43%	13%	4%	1%	81%	17%	85%	87%
	14 安全に登下校ができています	45%	39%	9%	1%	7%	84%	10%	86%	88%
	15 安全な学校生活を心がけている（けが・コロナ感染予防等）	36%	45%	12%	1%	6%	81%	13%	87%	93%
	16 一生懸命そうじに取り組んでいる	27%	32%	13%	3%	25%	59%	16%	58%	62%

*回収：350名、回収率：48.1%（R5:81.3%） *青字：80%以上（成果）、赤字：50%以下（課題）

子どもが成長したと思うこと【保護者】※複数意見

【ともだちルーム】

<生活>

- ・ひとりで教室へ向かえるようになったことです。
- ・気持ちの切り替えが早くなった。
- ・落ち着いて学校生活がおくれている。
- ・自分の意見、意思を伝えられるようになった。
- ・友達と遊ぶ楽しさを見つけることができています。
- ・幸せそうで嬉しい

<学習>

- ・勉強を頑張っている。自分から何かをやろうと積極的になってきた。
- ・積極的に学習に取り組んだ。
- ・「です」「ます」で話せるようになった。
- ・挑戦してみようという気持ちが出てきた。

【1年生】

<生活>

- ・自分に課せられた事を、責任を持ってやろうという姿勢。
- ・学校生活に慣れ、集団生活をより意識できるようになったと思います。
- ・朝決まった時間に起きて、自分で支度をし、決まった同じ時間に登校していけるようになった。
- ・失敗したことについて考え、改善案を考えるようになった。
- ・友達との交流がスムーズに出来るようになってきた。

<学習>

- ・勉強の習慣が身に付いてきた。自ら勉強・宿題をする姿勢。課題を最後まで取り組む根気強さ。
- ・少しずつ授業に前向きに取り組めることが増えてきた。
- ・学校で聞いてきた持ち物や宿題をしっかりと自分で管理していること。
- ・タブレットを使いこなせるようになったこと。
- ・字を書くのが上手になった。ひらがな・カタカナが読めるようになった。

【2年生】

<生活>

- ・人とのコミュニケーションが取れるようになってきた。
- ・1人で出来ることが増えてきた。言う前に進んで取り組むこと、自分でやることが身についてきた。
- ・学校での出来事や自分の思いなどを自分からよく話してくれるようになった。
- ・悔しいと思う気持ちがより芽生えたことが、真剣に取り組んでいるからこそその感情だと思います。
- ・家の手伝い、料理の手伝いをするなど、自分で出来ることが増えた。

<学習>

- ・学びノートを何冊やるんだ！と目標をもって意気込んでやっているところ。
- ・クラスでみんなの前でしっかり自分の意見が言えるようになった。
- ・先生の授業が分かりやすいのか、自主勉強テスト対策などしなくてもテストの点がとれています。頭に内容が入っているんだろうなと思い授業に対する姿勢が良くなったのかなと感じる。
- ・宿題に時間がかかっていたけど少し早くできるようになった。

【3年生】

<生活>

- ・友達や先生からの注意に耳を傾けて行動できることが増えた。
- ・友達関係が広くなり、色々な友達とも仲良くできるようになった。
- ・自分から進んで行動できる事も少しずつ増えてきた。
- ・約束を守り、我慢しなくてはいけないときも我慢出来るようになった。
- ・掃除の時、私語をせず黙々と掃除できるようになったところ。

<学習>

- ・進んで宿題・自主勉強をやるようになってきた。(言われなくても)
- ・自分で料理を調べて学びノートに書き込んだり作ってみたい料理と一緒に作ったり料理が身近になった。
- ・良い意味で、手を抜くことも覚えた。宿題の進め方が以前よりも少し早くなった。やらなくてはいけないことに先に取り組む姿が見られる。
- ・学校での授業、活動に対して積極的になってきた。

【4年生】

<生活>

- ・いろいろなことを積極的に行動する事ができるようになった。
- ・自分で出来る事は自分でやる事が増えました。クラスでの活動に積極的に関わり、楽しめるようになりました。新しいこと、環境の変化にもそこまで不安にならず受け入れられるようになったと思います。
- ・家庭の中で積極的に手伝いをしてくれるようになりました。
- ・友達関係で学校に行きたくないという事がなくなった。のびのび過ごせるようになってきた。

<学習>

- ・自分で考えて学習計画がたて、机にむかえるようになった。
- ・未知なるものに向かう探究心責任をもって、やりとげるところ。
- ・学びノートを活用して疑問に思ったことや知らなかったことについての調べ学習に意欲的・積極的に取り組めるようになりました。
- ・学校での授業、活動をととても前向きに捉え、取り組み、楽しめるようになった。

【5年生】

<生活>

- ・登校する時に近所の方に自分から挨拶できるようになった。
- ・周りの状況を考えて行動出来るようになった。
- ・相手の気持ちを一番に考えて行動ができること。
- ・以前より友達と積極的に話したり遊んだり関わりをもつようになった。
- ・積極性が身について、学校での活動に進んで取り組んでいる。
- ・クラスメイトの良いところを見つけ、その人とどう付き合っていくのがよいのかを考えるようになった。

<学習>

- ・学び等のノートなど工夫して書く事が出来る様になった。
- ・先生に誉めていただいているおかげか勉強を意欲的にするようになった。
- ・苦手な事から逃げるのではなく把握して予習を取り入れるようになった事。
- ・お楽しみ会など授業以外のことも進んでやっている。
- ・社会の授業で調べる事、まとめる事、自分の考えを述べる事ができるようになった。

【6年生】

<生活>

- ・自分で気づき、考え、行動することができてきている。
- ・自分の意見を発信できるようになった。
- ・自信を持って発言が出来るようになった。
- ・最高学年として、リーダーや班長に立候補するなど、責任をもって自ら考えて動いていることがわかる。
- ・交友関係もより幅広くなり、どの仲間とも仲良く過ごせるようになったこと。
- ・家の手伝いなど、自分で気がついて行動できるようになった。

<学習>

- ・こちらから何も言わなくても自主的に、計画的に学習など進められるようになった。
- ・自分に自信がついて、授業や活動にととても積極的になりました。
- ・どんな学習に対しても前向きに取り組めること。
- ・苦手なことに対しても練習や挑戦をつづけ、力を付けることができた。
- ・中学生に向けて、テスト勉強を進んで取り組めるようになった事。

子どもをよりよく育てるための提案【保護者】※複数意見

- ・登下校の様子が心配。飛び出しや雨降りのときなど危険なことが多々あります。もっと改善できることがありそう。登下校は地域・保護者の責任と言われて見守る大人が少ない。学校でも通学班指導や登下校指導をしているので、校外生活委員と自治会が協力して子どもたちの安全を守るようにしていきたい。地域の放送等を活用して協力をお願いすることもできそう。学校・保護者・地域がもっと連携して今まで以上に声かけ・指導・見守りを行ってけるとよい。
- ・10年前に比べるとあいさつが減ってしまったように思う。すれ違う人だれにでも声をかけ合うだけでも防犯対策になると思う。地域全体であいさつに取り組んで以前の川島のよさを戻せるとよい。
- ・保護者ボランティアに助けてもらえてうれしかった。色んな子供がいる今の時代、先生だけではすべての子供を見切れないのでこういったボランティアの取り組みは良い取り組みだと思えます。
- ・清掃活動や地域のごみ拾いなど、地域の人も参加できる行事、ボランティアができると思う。
- ・地域で子どもを育てると意識をみんなでもてるといいと思う。地域の人、他人の親が子どもたちに注意できる環境ができればと思う。

他に、学校行事、家庭学習の提案がありました。参考にさせていただきます。これらの意見等を受け、学校として、次のように進めていこうと考えています。

(1) 子どもにとって安全で安心できる学校づくりを一層推進します。

- ・児童の心身の安全・安心を最優先に考え、全教職員で協力して指導にあたります。命を守る訓練では、火災・地震・洪水などの自然災害に加え、不審者対応等、実際に即した訓練のあり方を警察・消防など関係機関と連携して進め、危険から身を守ることができるような児童の育成を図ります。特に引渡し訓練のあり方について、実態に即した方法を検討していきますのでご協力をお願いします。
- ・年間を通じて、教育相談や情報モラル学習などを実施していじめ等のトラブルの未然防止に取り組みます。また、SOSの出し方教育や定期的なアンケートなどから、事案の早期発見・早期対応に努めます。トラブルが起きたときには、子どもに寄り添った相談支援に努め、保護者との情報共有をすすめます。

- ・登下校時の安全について、地域やPTAと協力して次の3点を行います。

① PTAと連携し、年間を通じて継続した指導を行います。

PTA運営委員会と校外生活委員会を中心に、通学班登校のあり方について検討を進めています。通学班編成、安全見守り活動(旗当番)など、子どもたちの安全と保護者・地域の見守り活動など、学校として協力していくところをいっしょに考えながらよりよい登下校につながるようにします。また、校外生活委員担当地区の児童の登下校の様子について学校に連絡を、旗当番の保護者さんに気づかれたことをファイルに記述していただいています。その様子を校内放送で伝えたり、臨時に個別の通学班会を開いたりしており、継続して指導していきます。

② 通学班会で確認した内容(集合時刻、登校の約束)を、保護者・見守り隊と情報共有します。

学校では、年3回の通学班会を行っています。3月10日には新しい通学班の会議を行いますのでぜひ参観ください。通学班会議では、集合時刻、登校の約束などについて確認・指導し、その内容のプリントを持ち帰ります。各家庭でもその約束を確認していただき、安全な登校への指導・見届けにご協力ください。

*教職員は、勤務時間(8時10分から16時40分)の関係から通学路での指導は難しいことをご理解ください。

③ 地区ごとに順に下校する「思いやり下校」をすすめ、下校ルールの指導を行います。

今年度から、同じ地域の児童が学年を超えて固まって安全な下校をすすめるための「思いやり下校」を始めています。混雑の緩和によって前の人を追い越すために車道に出るなどの事案は減ってきましたが、まだ危険な行動があります。全校放送や個別指導を継続して安全な下校を推進します。危険な行為を見かけたら、「地域で子どもを育てる」ためにぜひお声がけをいただきますようお願いいたします。また、できるだけ一人にならないよう学年をまたいで下校できるような指導も継続していきます。

(2) 活動のさらなる充実を図り、自分や仲間よさや成長を実感できる指導を推進します。

- ・昨年度の5月以降コロナ禍において制限していた活動を、社会状況を見極めながら再開してきました。また新たな課題(熱中症対策等)に対しても、子どもたちの安心・安全を主眼にして対応してきました。今後も子どもたちが自分や仲間よさや成長を無理なく実感できるように、活動の一層の充実を図ります。

- ・学級活動や児童会活動を活性化し、学級や全校の仲間に「自分からすすんで」働きかけ、「みんなと助け合って」よりよい生活を創り出すことを通して、一人一人が活躍し、よさや成長を実感できる学級・学校づくりを一層進め、「学校が楽しい」と感じられるような工夫をします。

- ・地域の人材資源等を活用し、「専門家から学ぶ」学習の充実を図ります。

- ・中学校と連携して「人権教育」に取り組み、全教育活動を通して自分・仲間よさや、よりよくなるうとする自分・仲間を感じるような温かい関係づくりへの指導を継続します。

(3) 児童が自ら学び、仲間とともに創る授業づくりを進め、子どもの学力向上に一層努めます。

- ・仲間と学ぶ楽しさを実感しながら、「できた」「わかった」という充実感や満足感を感じられるよう、ICT(タブレット)を効果的に活用しながら、「自ら学び続ける子」「仲間とともによりよい考えを創る子」の育成をめざした授業づくりに取り組み、学力のより一層の向上を図ります。また、タブレットは使い方指導を一昨年度から継続して行い、正しい使用方法が身に付きつつあります。学校と家庭での同一歩調の指導を継続していきますので、ご協力をお願いします。

- ・家庭学習は、発達段階に応じて、ドリル学習・けてぶれ学習・学びノートを併用し、基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上を目指します。低学年はドリル学習による基礎学力の定着を、中・高学年は、学ぶ意欲の醸成と自ら計画する力の育成を目指した指導を継続していきます。小学校段階においては、家庭でも、学習時間の確保と定着への見届けを丁寧にさせていただくことが、学力向上のために重要です。ご協力をお願いします。

(4) 家庭・地域・幼保中と連携を密にして、教育活動の充実を図ります。

- ・川島小学校は、川島学園構想のもと、川島ライフデザインセンター、かわしま学びの庭・育ちの庭、川島東こども園、川島中学校と連携して、12年間での「人間力」の育成に取り組んでいます。各施設が相互に連絡を取り合いながら、連携した教育を進めています。

- ・学校や学年の行事、校外学習や授業を支援いただくためにボランティアを募集して多くの方にご協力いただき、子どもたちの学びを支えることができました。今後もスマート連絡帳によるボランティアの募集を継続しながら、家庭・地域と連携して教育活動の充実を図っていきます。

- ・学校だよりや学年・学級通信、学校のホームページ等を活用して、学校の行事予定や連絡、授業の様子や子どもたちのがんばり等をお伝えさせていただいています。今年度ホームページにあげた記事は、1月末時点で80件(約2日に1回)です。より子どもたちの活動がわかるようなお知らせを心掛けていきますので、ご家庭でも話題にさせていただきますようお願いいたします。

